

各 位

「とがち・イノベーション・プログラム 2017」（第3期）の開始！

— 地域の「稼ぐ」を創り出す、混血型事業創発 —

（革新者プロジェクト × フードバレーとがち）

2017年6月12日

帯広信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、北海道二十一世紀総合研究所、道銀地域総合研究所、野村総合研究所、十勝 19 市町村は共同で、新たな事業創造を目指す「とがち・イノベーション・プログラム 2017」（第3期）を2017年7月から開始します。

この事業は、創造的なビジネスモデルを実践して今注目されている全国の革新的経営者と、十勝の事業者や起業予定者との知的混血・コラボレーションによる化学反応で、地域の稼ぐ力を呼び起こそうとするものです。

これまで、2015年に第1期プログラム、2016年に第2期プログラムを実施し、十勝での創業・起業に意欲を燃やす火の玉人材が集い、革新的経営者からの刺激や参加者同士の活発な議論を経て、合わせて15件に上る事業構想を打ち出しました。これらの事業は、現在も事業化に向けて挑戦中であり、現在、5つの事業が会社設立に至っています。また、取組の成果は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の「地域しごと創生会議」で紹介されるなど、多くの関係者から高い評価をいただいています。

第3期プログラムは2017年7月～11月の5ヶ月間を予定しています。

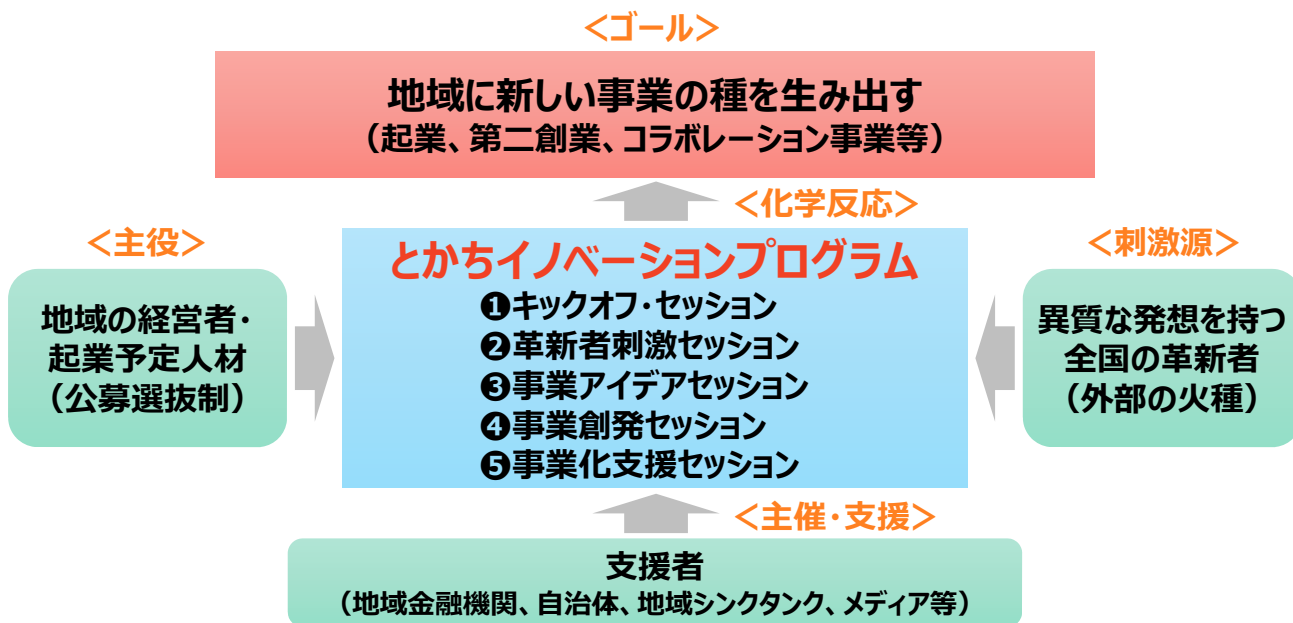
主催 帯広信用金庫

共催 北洋銀行、北海道銀行、北海道二十一世紀総合研究所、道銀地域総合研究所、十勝 19 市町村

協力 野村総合研究所

本プログラムでは、新事業展開意欲の高い十勝の事業者や起業予定者を募集し、「キックオフセッション」、「革新者刺激セッション」、「事業アイデアセッション」、「事業創発セッション」、「事業化支援セッション」の5種類のセッションを通じて、新たな事業創発を目指します。プログラム全体の企画開発は野村総合研究所が担い、参加メンバーの決定とプログラムの管理・推進は、帯広信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、帯広市と（公財）とがち財団が連携して進めます。道内2つのシンクタンクは専門的な人材の提供などで同プログラムを支援します。また、同プログラムから生まれた将来有望な事業コンセプトに対しては、行政や金融機関などの関係機関が連携して実現化支援策を検討するなど、オール十勝、オール北海道の強力なバックアップ体制の構築を狙います。

本プログラムは、革新者を含む異質な人材の組み合わせによって新しい事業の種を構想するという全く新しいアプローチに特徴があります。ハイレベルの外部の革新者から刺激を受け、あるいは十勝の事業者や起業予定者が業種や世代を超えて深く対話し、連携することによって、今までにないような創造的コラボレーション事業を生み出すことを期待しています。この取組みを通して起業創業を促進し、北海道の新たなビジネスモデルをこの十勝からつくるため、本プログラムをすすめるものです。



【プログラムの概要】

1. 名称：「とちぎ・イノベーション・プログラム 2017」（第3期）
2. 期間：2017年7月～11月
3. 参加メンバー：十勝の新事業意欲溢れる事業者、人材など。公募により限定100名程度
4. プログラム概要：
 - (1) キックオフセッション（1回、7月12日㊦開催）
 - プログラムの目的、ゴール、進め方などに関する意見交換、意識共有、ならびに参加メンバーの相互の理解と良質な関係構築を図るセッション。
 - 地方企業を含む中小型株を中心に運用し、圧倒的なパフォーマンスを記録するカリスマ・ファンドマネジャーであり、革新者の一人でもある、レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役社長 藤野英人氏より基調講演。
 - (2) 革新者刺激セッション等（4回、7月27日㊦、8月10日㊦、8月23日㊦、9月6日㊦）
 - 異質な発想を持つ全国の革新者から刺激を受け、起業・発展的事業転換やコラボレーションのきっかけをつかむセッション。
 - 革新者刺激セッションの狙いは、新事業に挑むモチベーションを高めること、イノベーションに必要な着眼や行動のヒントを得ること。加えて、革新者×地域人材のコラボレーションによって新事業の種を生み出す。
 - 毎回1～2名の革新者を招聘し、プレゼンテーションおよび参加者との対話・交流を行う。
 - また、3回の革新者刺激セッションの間に、第1期・第2期プログラムで生まれた事業について、事業化に至る経緯や困難、突破口、今後のビジョン等のピアレビュー（セッション）を行い、新事業創出のヒントを得る。
 - (3) 事業アイデアセッション（1回、9月19日㊦）
 - 革新者からの刺激を受けて、自らの事業構想、事業アイデアを形にするセッション。
 - その中で、自ら新しい事業に挑戦したい人たちは、その後の事業創発セッションに進むため、一緒に事業創発セッションに参加するチーム作りのための意見交換を行う。
 - (4) 事業創発セッション（2回、10月13日㊦、11月2日㊦）
 - 公募により選定されたチーム（5～7チーム程度）を対象として、起業や発展的事業転換に対する考えを進化させる他、アイデアを業種や世代を超えて連結し、より大きな事業構想（ビジネスコンセプト）を生み出すためのセッション。
 - ビジネスコンセプトの実現性やインパクトを強化するため、参加メンバーの他に「事業化支援アドバイザー」（事業コンサルタントなど）も投入予定。
 - (5) 事業化支援セッション（1回、11月17日㊦）
 - 事業創発セッションで構想したビジネスコンセプトの発表とレビュー、今後の支援策を検討するセッション。
 - コメンテーターは、金融機関、シンクタンクの代表等が務め、実現化に向けた今後の方向を検討する。

【参加者募集の概要】

1. 応募要件

企業経営者・後継者、新事業開発担当者、個人事業主、起業希望者等で以下の要件に該当する方

- 起業に向けた意欲の高い方、または事業の発展的転換を目指す方
- 一連のプログラムの活動に継続的に参加できる方

2. 募集人数、募集期間

- 100名程度
- 公募期間は、6月12日⑧～6月29日⑨まで（最終日の受付は15時まで）

3. 応募様式・方法

以下の項目を任意の用紙に記載の上、帯広信用金庫経営コンサルティング室宛にメール又はFAXで送付

- (1) 住所、氏名、年齢
- (2) 連絡先（電話番号、メールアドレス等）
- (3) 現在の職業または経営している事業所名と事業の内容
- (4) 応募動機
- (5) 現在持っているビジネスアイデア等

<送付先>

帯広信用金庫経営コンサルティング室
E-mail : consul@obihiro.shinkin.jp
F A X:0155-24-3348

4. その他

- 参加者は審査により決定しますので、お申込みいただいてもご希望に添えない場合がございます。応募者には、審査後、速やかに選考結果を通知します。
- 本プログラムの様子や内容は、メディアに対して公開することがあります。したがって、知的所有権、肖像権等につきましてはフリーとすることをご了承ください。

<問い合わせ先>

帯広信用金庫経営コンサルティング室 担当：三品

TEL 0155-21-5353（受付時間 平日9時～18時）